

第12回全国棚田サミットが宮崎県日南市の坂元棚田で開かれます。坂元棚田は昭和8年完成までに5年の歳月を費やして造られたそうです。坂元棚田の特徴はほぼ長方形をした石積みの田んぼが階段状に並び、馬耕農業を前提として開墾されたと云います。

# 四谷の千枚田だより



第36号

## 第12回全国棚田(千枚田)サミット

テーマ：棚田・未来への継承～人の絆が棚田を創る～

- と き／平成18年10月6日(金)～7日(土)
- と ころ／宮崎県日南市

### 開催日程

- 10月6日(金) 第1日目  
 時間内 容  
 9:00～全国棚田(千枚田)連絡協議会理事会  
 10:00～同協議会総会・首長会議  
 11:50～昼食  
 13:00～開会式  
 13:30～基調報告(1)都市部の棚田の報告  
 (2)地方の棚田の報告  
 15:15～パネルディスカッション  
 17:30～全体交流会



### 坂元の棚田

農家戸数	13戸
総枚数	約70枚
総面積	3.5ヘクタール

- 10月7日(土) 第2日目  
 時間内 容  
 9:00～坂元棚田ミニカンントリーウォーク  
 10:30～事例発表  
 11:00～宣言案採択  
 11:10～閉会式  
 11:30～昼食

四阿に早稲の香りを聴く  
 千枚田 西尾市 深見ゆき子  
 千枚田野面積み美し稲穂垂る  
 西尾市 鈴木 梢

### 三河の山黒ツリーズム

「おいしいおこめをつくってみませんか」に参加して

今回、田植え・稲刈り

体験ツアーに参加させていただきました。初めは、そのようなところへ参加しても、将来農業に携わらないだろうに、参加しても大丈夫なのかどうか迷いました。興味本位の私たちが棚田を踏み荒らしてもよいのかどうか、また、多くの人が棚田の美しさを求めて観光に来てしまったら、そして開発が進んだら、今ある自然が壊されてしまうのではないかと、懸念がないわけではありません。ただ、今回体験させていただいたことをたくさんの人に伝えることはできるかと思えます。

現在、食料自給率40%と低迷しているだけあって、日頃自分達の口にしていくものの生産現場を目にするのはほとんどありません。そんな状況の中で主食である米の作られる過程を垣間見ることができ、実際に体験できることは非常に有意義なことであると思えます。

名古屋から車で約2時間という

距離、棚田まで続く舗装された道は、今まで全く関わってこなかった農業・自然というものをとても近付けてくれました。これからも、じわじわと人と自然、人と食、様々な距離を縮めてくれることと思います。

これからも、少しでも多くの人が棚田の良さを知り、大切にしていってくれたら良いと思います。そして、少しでもそのお手伝いをさせていただけたらと思っております。

地元の小山舞二さん(ふるさと水と土指導員)にはいろいろのお世話になりました。小山さんはこの棚田が好きで好きでたまらない様子で、お話を通して、その熱意が大きく感じられました。

特に印象に残った言葉は、棚田を貫き、天まで昇るかのような作業道(景観道)が「もし、出来ていなければ、棚田のお百姓さんの多くは田んぼを作るのをやめていたでしょう。また、都市の皆さんも大勢訪れるようになり癒し、潤いを感じていただいています。本当によい、税金を使っていたら、と目を輝かせてお話しをされました。私たちは、その重い言葉をお聞きして「ハッ」としました。

名古屋市 飯尾けいこ

## 巡 検

八月十三日、三遠地方民俗と歴史研究会一行三十余名が四谷の千枚田「石積み」の棚田」と身平橋の「念仏踊り」を巡検しました。

杉本会長さんは「この地区(連谷)には二つの素晴らしい民俗伝承がある。その一つは四谷の千枚田であり、もう一つは忠実に伝承されている念仏踊りである。この地域の二つの宝は、本日、皆さんの郷土を想うお姿を拝見して、未来永劫に繋がるものと確信する」と土民に挨拶をされました。



### 【献言 杉本 功氏】 「こども農学校の稲刈り」

九月十六日(土)、JA愛知東主催の「こども農学校」の稲刈りが行われます。(参加者 五十九名)

## 連谷小学校の催し

▽ 案内 杉山子立



九月六日(水)、午後全校生徒十一人が十一体の案内子を田んぼに立て、スズメやサル、イノシシを追っ払います。

▽ 稲刈り 九月二十八日(木)に行われます。

## 三河の山里ツーリズム

三河の山里活性化事業実行委員会主催の四谷の千枚田で「おいしいおこめをつくってみませんか」のツアー最終回の稲刈り体験が九月九日(土)、に行われます。

## 岡崎市ウォーキング

八月二十七日(日)、岡崎市ウォーキングクラブ協会(百八十人)が千枚田や石仏をコースとして行われます。

## 里山ウォーキング

九月七日(木)、朝日カルチャーセンター主催で「四谷の千枚田 鞍掛山」のウォーキングが行われます。

## 架設トイレ

千枚田入口に架設トイレが設置されています。

風光明媚な四谷の千枚田を訪れたその記念にトイレも使用して、こうと扉を開けた途端、熱気で臭いムンムン、汗ダラダラ・・・

いつもトイレを清潔にと気遣っている小山泰弘副会長の好意で「葦簀」が張られ、おかげで安気に小便をすることができました。



葦簀購入資金はトイレを使用する皆さんの善意の壺「チャリン」の浄財を使わせていただきました。

## げなげな嘸

連谷尋常小学校が四谷椎島より現在地に移転したのは大正十四年三月二十一日だっただけな。

その時、大代の「高橋庄松つき」は永代の記念にと、校門を贈っただけな。

この校門は合戸川の曼茶羅石の直ぐ上と心中淵の平岩を、石のみと芹矢で切りとり、校区のみんなが地車や、てこん棒を使い、それはそれ

は難儀をして、やっとこさ、学校まで運んで校門として建てただけな。あんたも、暇ずらあに・・・いっかい、校門を見てみらん・・・右側の門の真菰よりに曼茶羅経がチョコッと見えるだに・・・



曼陀羅石(生痕化石)を校門にしたお陰か、子供らの中には「字」がうまい子もおるだけな・・・

行 平成十八年八月二十日  
鞍掛山麓千枚田保存会  
発 文 責 小山舜二